

仙台市北部の大和町にある、宮城大学大和キャンパスではおよそ1300人の学生が学んでいます。このたび、キャンパス内の各種照明のLED化への更新の一環として、グラウンドとテニスコート、さらに駐車場、外構の照明をLED器具へリニューアルしました。省エネ、省メンテナンスとともに快適、安全な照明環境を実現しました。

宮城大学は1997年、宮城県初の4年制県立大学として開学以来、実学を尊重し社会環境の変化に迅速に対応できる人材の育成に取り組んでいます。大和キャンパスには看護学群、事業構想学群、大学院があり、自然と共生し地域に開かれた大学としてデザインされています。広い敷地内には本部棟をはじめとする充実した学びの環境のほか、グラウンド、テニスコートのほか駐車場なども整えられています。



【物件概要】
所在地：宮城県黒川郡大和町学苑1番地1
対象物件：グラウンド、テニスコート、駐車場、外構
施主：公立大学法人宮城大学
設計：株式会社佐藤総合計画
施工：電気/旭日電気工業株式会社
(グラウンド、テニスコート、駐車場、外構)
リニューアル完成：2026年2月



グラウンド 1kWメタルハライドランプ器具相当のLED投光器①64台を既設の高さ15mの照明柱8本に8台ずつ設置。(トラック内平均照度470ルクス)

LED投光器でナイターの快適な照明環境を届け、外構や駐車場の照明もLED化で安全性を向上。

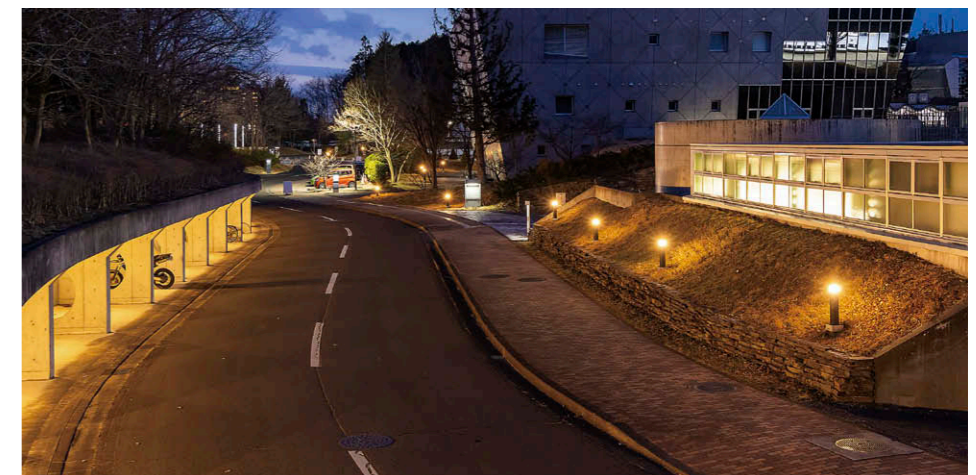
約150m×約83mという広さを有するグラウンドは、主にサッカーサークル、野球サークルの活動に活用されています。グラウンドを挟み向かい合う形で等間隔に立っている既設の照明柱8本に8台ずつ合計64台のLED投光器を設置しました。LED投光器は1kWメタルハライドランプ器具に相当する明るさで、グラウンドいっぱいにくまなく照らします。隣接するテニスコートは2面あり、1面に6台のテニスコート用照明のLED投光器を6.3mの既設の照明柱に設置。専用のアームアダプターで照射角度が調整できます。コートの平均照度は260ルクスの明るさで、グレアを抑える優

れた特徴があります。グラウンド、テニスコートともにナイターのプレーにおいて快適な照明環境を提供します。

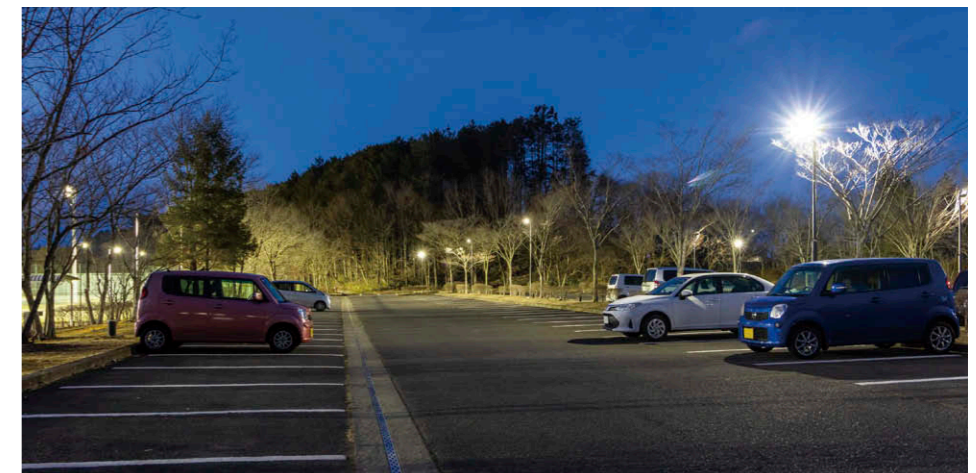
外構は夜間の通行時の視認性確保に重点を置き、歩道沿いの照明器具を中心にLEDガーデンライトへ更新。全周配光タイプで、通路一帯を明るく照らします。駐車場も安全性確保を主眼に従来の庭園灯からLED小形投光器へ更新。十分な明るさとともに保護等級IP65が標準仕様で風や雨等に強い特徴があります。屋外照明設備もLED化したことで、大幅な省エネ、省メンテナンスを実現しました。



テニスコート テニスコート用照明のLED投光器②でグレアの少ない快適な競技環境を実現



外構 視認性確保、安全性確保のため採用されたLEDガーデンライト③



駐車場 駐車場全体に光が届き安全性を高めたLED投光器④⑤の照明



LED投光器 (グラウンド) LED投光器 (テニスコート)

主な掲載器具一覧				
設置場所	器具名 (品種名)	形名	台数	備考
グラウンド	① LED投光器 (中角タイプ 重耐塩形)	BVP574_650CW_MK	64	消費電力：367W
テニスコート	② LED投光器 (前方広角配光タイプ 重耐塩形)	BVP433_510CWFWS	12	消費電力：351.4W
外構	③ LEDガーデンライト	LEDG-67301	42	消費電力：5.8W
駐車場	④ LED小形投光器 (前方タイプ 重耐塩形)	LEDS-10909NF-LS9	10	消費電力：71.9W
	⑤ LED小形投光器 (広角タイプ 重耐塩形)	LEDS-06909NW-LS9	4	消費電力：42.7W